

SUZUKA UNIVERSITY LIBRARY NEWS

August, 2021

毎日暑い日が続く夏。せっかくのお休みだから出かけたい、けれど外は暑いし家に居たい・・・そんな時は扇風機の風を浴び、麦茶を飲みながら『夏』を全身に感じて読書する。というのもとても気持ちの良いものです。日本の夏を感じながら、たまには読書にふけてみるのはいかがでしょうか。

特設コーナーリニューアル



社会の中で、すべての人の『自分らしさ』が尊重されるためには、まず、私たちに身近で重要なテーマである『かけがえのない生と性』について正しく知り、違いを認め合うことが大切です。

教授おすすめの一冊



英語で話す「仏教」Q&A

高田佳人 著 ジェームスMバーダマン 訳

『仏教はどのようにして日本に根づいてきましたか？』

『仏教と神道の根本的な違いはどこにありますか？』

『仏教とキリスト教の根本的な違いは？』

この素晴らしい本では、仏教と神道やキリスト教との類似点・相違点について知っておくべき重要なポイントが、わかりやすい英語で書いてあります。いつか留学し、働き、海外に住むと宗教の話題が必ず出てきます。あなた自身の生活と文化についてもっと楽しく学ぶことができますでしょう！

(国際地域学部 ブライアン・マホニー先生)

「悲しいけど、青空の日－親がこころの病気になった子どもたちへ」
～ドイツ発の児童専門書～ シュリン ホーマイヤー 著・絵



第1章（絵本） 主人公のモナと精神疾患のママが二人で町はずれの小さな家に暮らしています。小さな友だち、ぬいぐるみのマックスも一緒です。モナは、ママが庭で本を読んでくれたり、ハイキングにマックスも一緒に出かけたりする楽しいひとときを「青空の日」と呼んでいます。

ある日、学校から帰ってチャイムを鳴らしてもドアを開けてくれません。やっとドアを開けてくれたらママの表情は一変していました。ママに「何があったの」の聞いても何も答えることができません。家に入ると家じゅうが散らかってありました。モナはこんな日を「悲しい日」と呼んでいます。モナはこんなママを置いて、マックスに留守番を頼んで学校に行きます。担任のルーズ先生には「寝坊しました。」とうそを言いました……。

第2章（絵本） モナからあなたへ－子どもたちへのアドバイスー

ルーズ先生は「だけどね、ママの悲しい日は、子どもが変えることができないの。

さああなたのマックスをまず掘おこさなくちゃ。(モナはママが早く治るようにと一番大切なぬいぐるみのマックスを土に埋めた)、だから私はマックスを土の中から救い出したのよ。」「家の中が何か変なの。ママやパパは病気なのかな？」ここから、ルーズ先生の専門的なアドバイスをやさしくモナに話していきます。もちろん、モナを通して大人へのメッセージでもあります。

第3章 親と身近にいる人たちへのアドバイス

「もし家族の誰かが精神疾患になったら、本人や家族の生活は大きく変化します。普通の生活リズムは中断され、相互の関係が変わります。……このように精神疾患は家族全体のバランスを失います。」そして、教育者のラインホルト・ショーネとザビーネ・ヴァーゲンブラスが提起した以下の4つのハードルを紹介していきます。

- ①親の病気受容（親が自分で言葉に表すことの大切さ）
- ②子供に向かって病気をカミングアウトすること
- ③守秘義務というタブーを子どもが破り他人に話すこと（このことによって他人に支援を求めることができる）
- ④そして、親の病気に対して子どもが世間に関き直れること

以上の4つのハードルを軸にそれぞれが詳細に解説されています。日本の伝統文化に照らし合わせると上記4つのハードルは極めて高いと言えますが、このハードルを越えていかない限り、病気の当事者もその子どもたちも本当の意味での救い＝解放はないと思われます。日本の閉鎖的な環境からの解放そして差別や偏見の解消への道しるべは、この本が指し示しているような気がします。筆者は社会福祉を専門とし40年ほどが経っているにも関わらず、身につまされる一冊であったことを書き添えておきます。

（こども教育学部 山路克文先生）

※夏休み長期貸し出しについて

期間 令和3年7月26日(月)～9月8日(水) この間の返却日は令和3年10月7日(木)です。

※蔵書点検について

期間 令和3年9月13日(月)～9月30日(木) この間は閉館します。返却は出入口の返却BOXをお願いします。

※図書館カレンダーは鈴鹿大学ホームページをご覧ください。

※コロナウィルスの感染状況を考慮し、現在学外の方の利用を中止させて頂いております。